

韓国農林畜産食品部プレスリリース 2019年11月21日付

以下、機械翻訳などによる仮訳

## 江原道鉄原郡遠南面のイノシシ弊死体からASFウイルス検出

<http://www.mafra.go.kr/mafra/293/subview.do?enc=Zm5jdDF8QE8JTJGYmJzJTJGbWFmemElMkY2OCUyRjMyMjA1MSUyRmFydGNsVmlldy5kbyUzRmJic0NsU2VxJTN EJTI2aXNWaWV3TWluZSUzRGZhbHNlJTI2cmZRW5kZGVtdHllM0QlMjZwYWdlJT NEMSUyNmJic09wZW5XcmRTZXEIM0QlMjZyZ3NCZ25kZVN0ciUzRCUyNnNyY2hX cmQlM0QlMjZwYXNzd29yZCUzRCUyNnNyY2hDb2x1bW4lM0QlMjZyb3clM0QxMCU yNg%3D%3D>

### 【本文】

□環境部所属国立環境科学院（院長ジャンユンソク）は江原道鉄原郡遠南面で発見されたイノシシ弊死体からASFウイルスが検出されたことを11月21日明らかにした。

○11月20日午後2時頃、軍部隊が道路復旧作業中にイノシシ弊死体を発見して申告した。科学院は同日午後5時頃、野生のイノシシ、ASF病標準行動指針に基づいて試料を採取した。軍部隊は、現場の消毒後、死体を埋却処理した。

○科学院は、高精度の分析を経て、11月21日午後12時頃、ASFウイルスを最終確認し、その結果を関係機関に通知した。これにより、鉄原で12件目のASFウイルスが検出され、全国的には26件に増えた。

□ジョンウォンファ国立環境科学院生物安全研究チーム長は、「今回検出された弊死体は、2次フェンスの中で発見され、11月8日、ASFが確認されたジンヒョンリ313番地とは1.2km離れていた」と述べ、「11月25日から2次フェンス内の大規模な調査を実施する予定で、この地域で今後も弊死体が見つかることがあるだろう」と述べた。

（以上）